

(別紙4(2))

事業所名:グループホーム長篠の家

作成日:令和3年12月10日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	事業所と地域の繋がりが、緊急事態制限の為、2年間遠のいてしまいました。また、地域の行事や、人との触れ合いも減っています。	行事参加や人との触れ合いを行って行きたい。	コロナワクチン接種3回目が終わりと、感染者が落ち着いてきたら、家族以外の親戚や、友達などの交流もさせてあげたい。ボランティア団体も今以上に増やしていけたらと思う。	6ヶ月
2	21・22	・利用者同士の関係の支援について 当施設は認知対応だが、軽度の認知で自身の事はできる為、此方の共同生活は、本人にはストレスが溜まるのではないか。(他者と陰口を言ったり、セクハラ行為をする。)	本人にとってある程度自由がきく「ケアハウス」を進める。	中度以上の認知の方が多いため、本人には話し相手が少なく、自身で何でもできる為、キーパーソンに相談する。認知が進みケアハウスを退居の時は、受け入れる事を伝える。	3ヶ月
3	33	現在、要介護5の方が自身で食事ができず、食介を行っている。高齢の為、午前、午後は居室で横になって貰っている。往診時、主治医がキーパーソンと話し合った。入院させて延命治療をするかどうか。	キーパーソンと話し合い終末期を此方で迎えるか	本人に尋ねたところ「病院よりここが良いね」と言って下さり、家族の方にも伝える。高齢の為、老衰の可能性があり、誤嚥や苦しを訴える時は緊急搬送もし息を引き取っていたら主治医に連絡。細目に家族と連絡を取り合う。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。